「ＣＡＴＹ」の名前は,「ＣＡｍｐｕｓ」と「ｃｉＴＹ」からの造語で、地域と大学の相互理解、交流促進を目的として生まれました。
「地域との共生　社会に学ぶ」を合いことばに、高等教育機関としての教育研究の成果を、地域に発信します。また学生が取材活動を通じて、読む・書く・話すといった能力を開発していくことも意図しています。

News CATY

ニュース　キャティ

２０１３年4月　第61号

発行／國學院大學
北海道短期大学部
滝川市文京町３－１－１
TEL0125-23-4111　FAX0125-23-5590
編集事務局長　平野富康

前進、前進、また前進

國學院大學北海道短期大学部　学長　田村弘

「人は、何のために学ぶのでしょうか」。難しい質問です。だから答えを求め続けなければなりません。そのために、世界にたった一人の存在である自分が、懸命に学び、厳しく生きることが必要なのだと思います。

学生諸君にとって、新たなスタートを余念なく準備していると思います。

一年生の皆さんは、新しい生活習慣をシッカリと身に付けて欲しいと思います。「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣は大切です。規則正しい生活が諸君の学生生活の基礎となるばかりでなく、自己を磨いて行きます。

未経験の「ゼミナール」も始まります。学生は研究者でもあります。一年間は、調査・研究の方法、テーマの決定、小論文の書き方など基礎的なことを学びます。

テストには、中間テストがありません。当然、試験範囲は広く、成果を上げるためには、ノートの取り方の工夫や点検が成績を左右して行く最も大きな要素です。

また、「インターンシップ」は、実際の職業体験を伴います。自分の将来の適職を判断・選択するためにも大変重要です。

二年生にとっては、編入と就活に忙しくなります。気力と体力とを整えて頑張りましょう。編入先の絞り込みは、大変重要です。担当する教員が皆さんの夢を支えます。皆さんも目標達成のため全力を尽くしてください。

就活も最盛期となります。勉学と就活の両立は大変ですが、教育実習や施設実習は、万全の準備をして臨みましょう。実習先の評価が、就職に有利に働きます。人は、その人物をよく見ているものです。

人生には、自らが持てる全てを発揮しなければならない時期があるものです。今がその時期だと信じて頑張りましょう。

私の母は無学でしたが、私にこう言って聞かせました。「弘、人生には辛いことが多い。それを越えるとまた楽しいことが待っている」

さあ、スタートだ。「前進、前進、また前進」。

―新入生たちの抱負と期待―

入学式で夢と希望を膨らませる新入生たち

平成25年度入学式
全国から180人

第32回入学式が、平成25年4月10日10時から、本学体育館で挙行された。

国文学科63名、総合教養学科44名、幼児・児童教育学科59名、専攻科14名　計180名の新入生が夢と希望を抱いてスタートした。

出身地別では1都1道1府17県の広範囲にわたり、遠いところでは山口県であった。新入生を代表して幼児・児童教育学科の岩野有華さん(滝川西高卒)が「何事にも積極的に学生生活を送りたい」と宣誓した。

教師になるため努力

私は、高校を卒業して一年間、中学校の用務員として働きました。そこでたくさんの方々に出会い、仕事を教えて頂きました。私の夢が小学校の先生ということもあり、用務員としての仕事をする傍ら、先生や生徒と積極的に関わって、充実した日々を送ることができました。

その一年を終え、私はこの國學院大學北海道短期大学部に入学しました。はじめは、一年間働いていたため、不思議な感覚に襲われましたが、クラスのみんなも「教師になるんだ！」という同じ目標に向かっていて、すぐ慣れることができました。私には、この大学を卒業して、現役で教員採用試験に合格するという大きな目標があります。ですからこの二年間は一生懸命に勉強し、目標を実現させたいと思います。

一方で、ニュースを観ていると、今日、子供たちは多くのことに縛られ、悩まされているようです。いじめの問題、ネットの普及による膨大な情報、両親からの愛情不足など、挙げれば切りがありません。子供たちは萎縮してしまって、本当はもっと輝けるのに、押し潰されてしまっている子もいるようです。

ですから、一日でも早く教師になって、子供たちに「みんな宝物なんだよ」と伝えてあげたいなと思っています。子供たち全員、愛と自信で満たしてあげられる…そんな教師を目指して、二年間頑張りたいと思います。

（幼児・児童教育学科児童教育コース1年／登地秀治）

温かい歓迎に感謝

私が本学の受験を選択したのは、この大学ならば、これから自分の興味あること、しなければならないことの両立が可能となる道へ進むことができると思ったからです。そして渋谷の本校へ編入することで夢の実現に近づくことができると知ったのです。

今まで私はいろいろな事柄に興味を持ち、前向きに挑戦することを信条としてきました。けれど、今回は進路を選ぶにあたり、国学に強い興味を持ったものの、神道文化学科、史学科、日本文学科…と、どの学科に進むかひとつに絞れなくなってしまいました。

この北海道短期大学部ではそれらをひとまとめに国文学科とし、入学後にそれらの学問領域のなかから一つを選択できると知り、専門の先生方に相談しながら自分の一番やりたいことを見つけようと、この大学の受験を決めました。

海を渡り実家の新潟を離れることに多少の不安はありましたが、本当の家族のようにお世話してくださる大家さんは連日の歓迎会で学生同士のコミュニケーションを図ってくださり、あっという間に緊張をほぐしてくれました。

大家さんのほかにも、来るもの拒まずと歓迎してくださる同じアパートの皆さん、学校の先輩、先生方、そして友達。皆とても暖かく大らかで、おかげで私は毎日笑顔を絶やさずに過ごすことができています。滝川に来て本当に良かったと心から思いました。

勉学のほかにもサークルや学校行事、ボランティアなど、やりたいことは尽きません。二年間という限られた時間のなかで、出来る限りのことを精一杯やっていきたいです。

そして編入が叶った暁には、北海道での二年間で得た知識と体験を生かして、自分の一番納得のいく道を選び抜いていこうと思います。（国文学科1年／滝澤朝日）

目標に向け仲間と努力

今年度の専攻科福祉専攻は男子7名、女子7名、計14名が入学しました。14名という少人数で授業を行っていくのでより細かく介護福祉の知識・実技を学ぶことができるのではないかと、これからの授業を楽しみにしています。

一年間という短い時間の中で介護福祉士の国家資格を取得するため、勉強・実技練習・テスト・実習…とスケジュールがたくさん詰まっています。また、就職したときのために基本的な挨拶や礼儀などのマナーを改めて指導していただいています。自分自身、改めてマナーに気を付けながら行動していると難しい、厳しいなと思うことがあります。しかし、この一年間先生方は私たちのために本気で向き合ってくれます。私たちも先生たちの本気を勉強や実習などの結果で返していきたいです。

これからの日々は休む暇もなく忙しい一年になりますが、楽しいことも辛いこともたくさんあると思います。しかし、私たち一人ひとりが頑張った分だけこの一年で得られるものは多く、大きいと思っているので、これからの授業や実習に向け毎日の体調管理などに気を配りながら、短い時間の中で専攻科の先生をはじめクラスの仲間たちと協力して助け合い、将来に向けて楽しく充実した学生生活を送れるよう頑張っていきたいです。（専攻科福祉専攻1年／村田有香音）

地域との連携・大歓迎パーティー
若者たちの新生活応援

歓迎パーティーで談笑する新入生たち

新入学生の皆さん國學院大學北海道短期大学部へご入学おめでとうございます。

家主連絡協議会会員一同より御祝い申し上げ歓迎申し上げます。これから2年間は滝川のおやじ、おふくろの気持ちでサポートして参ります。宜しくお願い致します。

さてこの会は、親元を離れて知らない土地で勉学に勤しむ「学生を守る会」として今から22年前の平成3年6月に結成されました。以後、滝川警察署、滝川防犯協会の協力を得ながら防犯パトロールを通じ学生が安心して暮らせる環境づくりに取り組んでおります。

ここで当会の事業を紹介したいと思います。4月の入学式終了後「ウェルカムパーティ」としてカレーパーティーで新入学生・父母・来賓・大学教職員で昼食をして交流を深めました。6月初旬にはクリーン作戦として、学生・家主会会員・大学教職員・市職員等で学生さん達の住むアパートの周り、大学の周りの清掃、花壇の花植え等をして、終了後は滝川名物のジンギスカンを食べながらの交流会を行います。また、6月中旬には学生・家主会会員、大学教職員でのパークゴルフ大会、下旬には大学祭の「ありす祭」への参加支援をして交流を深め、夜には防犯パトロール等を実施しています。パークゴルフは年2回、防犯パトロールは5～6回と実施しております。

これからの2年間は安全・安心・交流の3つを柱に滝川のおやじ・おふくろとしてサポートして参ります。日常の生活の中で解らないこと、困ったことが出来たとき、遠慮無く大家さんに相談して下さい。

（國學院大學北海道短期大学部家主連絡協議会会長／長野英已）

充実した学生生活に

入学式当日の朝は、人生初めてのスーツを身にまとい、いつもよりすこしキリッとした表情で入学式に挑みました。教室の雰囲気は入試かと思うくらいピリピリしていて、友達ができるのか、これからこの学校で2年間やっていけるのかどうか、とても不安になりました。

入学式の会場に入ったときは、緊張した面持ちをしながら「僕もついに大学生になったのか」とまだ自覚していなかった気持ちが心の中で定まりました。

しかし、私はこの少しの変化が一番大切だと思うのです。一歩進まなければ二歩目はありません。二歩目がなければ十歩目はありません。小さな努力を続けてこそゴールに近づきます。だから、大学ではこのように少しずつ経験を重ね、少しずつ成長していく二年間にしようと思います。そして卒業後、保育士になるという夢が現実になるよう今から頑張ります。（幼児・児童教育学科幼児保育コース1年／谷井真里亜）

成長していく2年間に

「高校との違いは何でしょう」。まだ大学に慣れない私が考えた答えは、〝自主性と責任が、より求められる〟ということです。高校のように時間割を学校側が全て決めるわけでなく、ホームルームで名指しで呼び出されるということもありません。

大学は履修指導を受け、講義を自分で選択しなければなりませんし、自分で掲示板を見て、呼び出しを確認しなければなりません。高校の延長だと思って過ごしてはいけないということを知りました。自ら考えて行動する力を身につけるためには、実際に行動してみるしかありません。日々の生活の中で能動的に行動することを心がけます。新しい行動をするときは、失敗してしまうことや無駄になってしまうことを考え、不安になりますが、どんな経験もきっとどこかで役に立つのだと前向きに捉え、行動する勇気を出そうと思います。

また、「高校との違い」は個人的にもあります。学長先生の話を聞いて、一つ心に響いた言葉があります。

「人間は、簡単にできることに喜びを感じない。苦しいことや難しいことに面白さや喜びを感じる能力があります」という言葉です。

私は高校時代それなりの成績で、部活もそれなりの成績を残し、それなりの高校生活を過ごしていたのですが、高校2年生の時に体験した、短期留学を通じて、もっともっと積極的に行動したいと思いこの大学に入学しました。

大学ではサークルやアルバイト、授業などを通じてたくさんの経験をして、どんなに高い壁にぶつかっても少しずつ努力していつか乗り越えて、有意義な大学生活を送りたいと思っています。これから2年間よろしくお願いします。（総合教養学科1年／前田英俊）

平成25年度オープンカレッジ講座ご案内

1.	あなたの想いを短歌に	月岡　道晴
2.	書の美への誘い	瀧野　幸三
3.	絵画の制作	黒阪　陽一
4.	大人のためのクラシックピアノ	田中有利子
5.	さあ、歌いましょう！	村中　朋見
6.	日商簿記検定２級対策講座	舛井　雄一
7.	日商簿記検定３級対策講座	舛井　雄一
8.	ビジネス会計検定試験３級対策講座	舛井　雄一
9.	子どもと英語で遊ぼう！　大人のための幼児英語入門	田中　冬子
10.	強く美しく　ウエイトコントロール入門	田中　一徳
11.	おもしろ俳句はじめ	吉田　類

※受講者数が一定の人数に満たない場合は、都合より講座を中止することがあります。
※詳細･問い合わせはコミュニティカレッジセンターまで（電話0125-23-4111）

パークゴルフシーズン到来

５月中旬オープン予定のパークゴルフ場

５月中旬オープン予定

今年の冬は例年になく寒く雪も大変多かったせいで雪解けが遅く、５月中旬以降のオープンを予定しています。

【利用者の範囲】

原則として滝川市内在住者とします。ただし、同伴者に滝川市以外の人がいる場合には、大学に届出の際お申し出ください。

①滝川市内老人クラブ(31団体)会員

②大学が認めた団体・グループ等

【プレー可能日】

原則として授業のない水・木・金とし、プレー可能時間は午前9時～午後4時とします。

５月のプレー可能日は、中旬頃からを予定しています。

【利用上の手続き】

利用者は、コミュニティカレッジセンター（図書館）に所定の届出をし、許可書の発行を受けてください。利用日には、利用開始と利用が終了した際に、窓口に必ずお申し出ください。

２０１３ オープンキャンパス

第１回オープンキャンパスを実施します。

①入試説明②体験授業③個人面談④校舎見学⑤在学生との懇談などを予定していますので、本学のよさをぜひご体験ください。

当日は子育てサロンありすが開催されているので、小さな子どもたちと一緒に遊んでみませんか。この機会にぜひ参加してみて下さい。

日　時　５月１８日（土）10：30～
申　込　入試広報室　0125-23-4111

子育てサロン「ありす」

子育て中のお父さん、お母さん、お子さんのための広場です。

お子さんを連れて、気軽に遊びに来て下さい。

対 象 者　おおむね０～４歳未満の子どもとその家族
参 加 料　１家庭あたり100円（保険料を含む）
申し込み　開催日の前日15：00まで　（先着30人）

次回開催日　５月18日(土)
テーマ：パークゴルフ
高校生のお兄さん､お姉さんが来てくれます。